

# ディペンダブルで高性能な 先進ストレージシステム

— ストレージはどこまで賢くなることができるか —



## 研究概要



### 研究の目的とアプローチ

#### これからの情報化社会

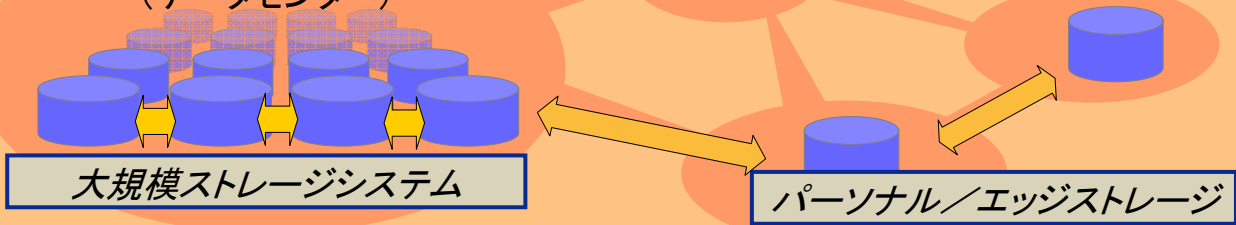
多種多様な大量のデジタルコンテンツ

必要な情報を確実に格納し、高速に取り出すための  
効率の良いストレージシステムの管理

#### 高性能でディペンダブルな先進ストレージシステム

コンテンツの集約  
(データセンター)

利用者が必要なときに  
必要なデータを保持



#### 管理コストの低減を目指して

アクセス負荷と容量バランスを  
自動的に両立させる方法

コンテンツの内容・特徴を  
考慮したデータ移動方法

データ管理処理により  
サービスの質を低下させない方法

高性能でディペンダブルなストレージシステム構築のための

#### 基本となる技術の確立

アーキテクチャ プロトコル アルゴリズム データ構造

### チーム構成

先進ストレージ研究統括・推進グループ

東工大

[横田、山岡、小林、藤原、奥村]

高度メディア蓄積・管理手法研究グループ

奈良先端大 [植村、宮崎]、

筑波大 [天笠]、同志社大 [波多野]

ストレージネットワーク研究グループ

お茶の水女子大 [小口]

システムアーキテクチャ研究グループ

富士通 [太田、江尻、戸田]

コンテンツ対応メタデータ研究グループ

NHK放送技研 [和泉、田口]

ストレージ技術動向調査研究グループ

日立製作所 [藺田]

### 研究の全体スケジュール

